

四條畷市議会だより



主な 掲載内容

- 02 6月定例議会のあらまし/審議結果一覧
 03 本会議討論/表彰状授与/人事案件等
 04-09 一般質問
 10-11 令和3年度政務活動費収支報告
 12 次回定例議会・委員会の予定等

6月定例議会のあらまし

令和4年6月定例議会は、議会期間を7日から23日までとして開会しました。

この定例議会では、四條畷市事務分掌条例などの一部改正4件、令和4年度一般会計補正予算1件、教育委員会教育長の任

命、教育委員会委員の任命、固定資産評価審査委員会委員の選任3件、人権擁護委員の推薦について審議を行い、すべて可決しました。

令和4年6月定例議会審議結果一覧表

全会一致で可決した議案		概要(議案の説明)
条例改正	四條畷市事務分掌条例の一部を改正する条例の制定について	くすのき広域連合の解散に伴い、事務分掌の見直しが必要となるため、所要の改正を行う。
	四條畷市の議会議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	公職選挙法施行令の一部改正により、選挙運動費用に係る公費負担額の上限が引き上げられたため、所要の改正を行う。
	一般職の職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	一般職の職員の退職手当制度について、より一層の適正化を図り、もって公務に対する市民の信頼確保に資するため、退職手当の支払後に、在職期間中に懲戒免職処分を受けるべき行為があったと認められた場合において、退職者にその返納を命ずることができるなど国家公務員の退職手当制度に準ずるものとするとともに、一般職の職員の例による常勤の特別職の退職手当の支給について所要の改正を行う。
	四條畷市税条例等の一部を改正する条例の制定について	地方税法の一部改正等に伴い、DV被害者等の住所に代わる事項の記載が義務化されたことに伴う所要の整備、特定配当等などの課税方式の見直しに伴う適用要件の変更、住宅借入金等特別税額控除の適用期限の延長、下水道除害施設に係る課税標準の特例措置の参酌割合の変更及び貯蓄機能保全区域の指定を受けた土地に係る課税標準の特例措置の創設等を行う必要があるため、所要の改正を行う。
補正予算	令和4年度四條畷市一般会計補正予算(第2号)	現予算から5億3,070万円増額し、予算総額を227億5,994万円と定める。
同意	教育委員会教育長の任命について	令和4年9月1日付けをもって任期満了となる植田篤司氏を引き続き適任と認め任命する。
	固定資産評価審査委員会委員の選任について	令和4年9月30日付けをもって任期満了となる井上啓一氏を引き続き適任と認め選任する。
	固定資産評価審査委員会委員の選任について	令和4年9月30日付けをもって任期満了となる小笠原朋之氏の後任者として上村康弘氏を適任と認め選任する。
	固定資産評価審査委員会委員の選任について	令和4年9月30日付けをもって任期満了となる大西博行氏の後任者として加藤信二氏を適任と認め選任する。
	人権擁護委員の推薦について	令和4年6月30日付けをもって任期満了となる上田忠央氏の後任者として高橋隆男氏を適任と認め推薦する。
議会議案	四條畷市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市議会議員が出産等の理由によらずに長期欠席した場合及び市議会議員が被告人等として身体の拘束を受けていることにより欠席した場合の議員報酬の支給停止等について定める。

令和4年6月定例議会審議結果一覧表

○賛成、×反対

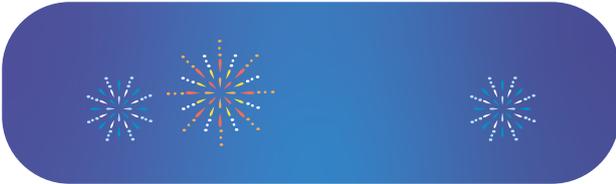
審議した議案と議員の賛否	結果	市議会 公明党			畷ビジョンの会		なわて 葵風会			大阪 維新の会		会派に 属さない議員	
		瓜生	小原	吉田(涼)	島	長畑	吉田(裕)	森本	藤本	大矢	柳生	渡辺	岸田
同意	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	×

※議長は法律により採決に参加できません。

本会議討論

教育委員会委員の任命について

本件は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定により、議会の同意を求めらるるもので、現教育委員会委員の山本博資氏を引き続き任命しようとするものです。



反対

会派に属さない議員

岸田 敦子 議員



山本氏は、質問でも述べたように、過去に学校統廃合と育鵬社の教科書選定で、住民の思いよりも時の市長や教育長の意向を優先して教育行政を行った事実がある。これは、日本が第二次世界大戦を教訓として教育の政治からの独立を定めたことから逸脱するもので、重大な過ちである。この4年間で状況が変わったとはいえ、その過去を消し去ることができないため認めることはできない。

全国市議会議長会 表彰状の授与

第98回全国市議会議長会定期総会において、永きにわたり市政の振興に貢献された功績により、渡辺裕議員が議員在職15年の表彰を受賞されました。



大阪広域水道企業団議会議員

7月1日付けで議員の選出があり、前任期に引き続き、島弘一議員が選出されました。

大阪府後期高齢者医療 広域連合議会議員

6月9日付けで同議会の選挙があり、吉田裕彦議員が当選されました。

人事案件

教育委員会教育長

令和4年9月1日付けをもって任期満了となる植田篤司氏を引き続き適任と認め、任命することに同意しました。

教育委員会委員

令和4年9月30日付けをもって任期満了となる山本博資氏を引き続き適任と認め、任命することに同意しました。

固定資産評価審査委員会委員

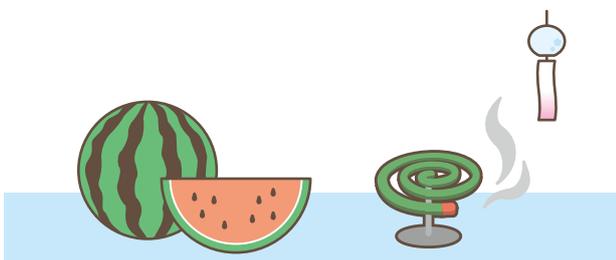
令和4年9月30日付けをもって任期満了となる井上啓一氏を引き続き適任と認め、選任することに同意しました。

令和4年9月30日付けをもって任期満了となる小笠原朋之氏の後任者として、上村康弘氏を適任と認め、選任することに同意しました。

令和4年9月30日付けをもって任期満了となる大西博行氏の後任者として、加藤信二氏を適任と認め、選任することに同意しました。

人権擁護委員

令和4年6月30日付けをもって任期満了となる上田忠央氏の後任者として高橋隆男氏を適任と認め推薦することに同意しました。



一般質問

令和4年6月定例議会

1. 柳生 駿祐 議員
 - 防犯カメラの適切な運用に向けて
 - 物価高騰対策について
 - 下田原地域のほ場整備事業について
2. 岸田 敦子 議員
 - 補聴器補助制度の創設について
 - 田原地下水の基準値を超えるフッ素対策について
 - 水泳授業の民間委託について
 - 35人学級の前倒し実施とダブルカウムの導入について
3. 吉田 裕彦 議員
 - 働き方改革における本市職員の適正配置について
 - 本市における無電柱化の推進について
 - 学校給食の無償化について
4. 小原 達明 議員
 - マイナポイント第2弾の対策について
 - 高齢者への補聴器購入費に助成を
 - 小中学校の英語教育について
 - デジタル博物館の創設に向けて
5. 森本 勉 議員
 - 四條畷神社参道に市営トイレを整備することについて
 - デマンドタクシーについて
 - 小中学生の安全対策について
 - 米崎踏切の歩道拡幅について
 - 小中学校の給食無償化と、高校・大学・専門学校生の無利子奨学金創設について
6. 吉田 涼子 議員
 - リトルベビーハンドブックについて
 - 女性のデジタル人材の育成・就労支援について
 - 小中学校へのマイボトル給水機の設置について
 - 「おおさかプラスチックごみゼロ宣言」への取り組みについて
7. 瓜生 照代 議員
 - 使いやすい場所への投票所の設置について
 - 周産期グリーンケア支援の充実について
 - がん患者アピランス(ウィッグ・乳房補正具)サポートについて
 - (仮称)四條畷市障がい者差別解消条例の制定について
8. 島 弘一 議員
 - 一人暮らしの高齢者等の安否確認について
 - 自動運転バスについて
 - 健康長寿を目指しての高齢者の筋力トレーニングについて
 - 小学校における、冷水機の設置について
 - 本市の財政について
9. 長畑 浩則 議員
 - 四條畷南中学校跡地に接する東側道路の歩道設置について
 - 国道旧170号について
 - 青少年コミュニティー運動広場(青少年グラウンド)について
10. 大矢 克巳 議員
 - 令和3年度における一般・代表質問の検証
 - 市職員採用について
11. 渡辺 裕 議員
 - 健康寿命の延伸とバリアフリーについて

6月22、23日に、11人の議員が行いました。青色の項目はその概要を掲載しています。




 大阪維新の会
柳生 駿祐 議員

防犯カメラの適切な運用に向けて

問 防犯カメラの小中学校区毎の設置箇所数は、市で設置する防犯カメラはどのような基準や過程で設置しているのか。

答 防犯カメラの設置基準や決定過程に画一した基準はない。設置箇所決定の過程は、校区再編に伴う安全対策や国が示す登下校防犯プラン等に基づき、保護者・地域・学校からの要望を総合的に判断した上で関係部局と連携して設置している。

田原小	畷小	南小	忍小
8	40	8	9
岡部小	くすのき小	合計	
14	9	88 (箇所)	

問 令和4年度の防犯カメラの設置予定数は0だが、どのような協議によって0になったのか。

答 前回(令和3年度)の設置以降、新たな状況の変化がないため。

問 防犯カメラの維持管理計画や設置マニュアルは何故作らないのか。

答 他の自治体で子どもを対象とした犯罪が起こったことや校区再編に伴う安全対策を趣旨に設置してきた経緯がある。地域の特性、事件等によって都度検討すべき問題と考えている。

問 子どもたちが危険にさらされない、僕たち大人は動けないのか。子どもたちが安全に通学するために大人がしっかりと対策すべきだ。

防犯カメラは校区によって大きな差が生じており、設置基準はさまざまな要素があり判断が難しい。優先順位をつけて、どこに、何か所、どのようにつけていくという計画またはマニュアルを作るべき。

答 学校等と十分意見交換を重ねた上で、今後方針として決めていきたい。

問 各自治会で防犯カメラを個別に

設置する補助金制度があり、必要経費の半分、上限10万円が補助されている。近年設置には30万円以上かかることがあるが、今後の上限金額の考え方は。

答 補助上限10万円は、平成27年当時の設置費用を基に設定している。最近の物価高騰等の観点からも改めて関係部署と協議していく。

下田原地域のほ場整備事業について

問 ほ場整備事業によって、小さな農地が合わさることで大きくなる。また機械の大型化や管理の省力化等により生産性が上がり、こうした農村環境の充実が本市の強みと魅力の一つになる。今後の事業の進め方は。

答 大阪府との連携の下、下田原農空間づくり協議会と勉強会や現地視察等を行ってきたところ。令和4年度末を目途に土地改良事業計画を作成するなど、引き続き、協議会・大阪府と密に連携し、ほ場整備の事業化に向け取り組んでいく。



会派に属さない議員
岸田 敦子 議員

補聴器補助制度の創設について

問 市民から補聴器補助を求める要望が相次ぎ、2年前から加齢性難聴の人への補聴器補助制度を取り上げてきた。国は今年度の国民生活基礎調査で補聴器に関する実態把握を行う。本市も今年度、第9期介護保険事業計画策定に向けてアンケート調査を実施する。この機会に、実態把握をしていくべきではないか。

答 難聴はさまざまな社会生活に支障を来し、認知症の発症やフレイル状態につながるリスクがあると認識している。介護予防や生活の質を維持するうえで適切な対応を図っていくことが重要である。令和5年度中に予定している四條畷市高齢者福祉

計画・第9期介護保険事業計画の策定のアンケート調査等で、高齢者の実態を把握していきたい。

問 市長に見解を問う。全国で補助制度が広がり、市民のニーズがあることを市も認めている。独自制度創設を検討してもらいたいだろうか。

答 本市のなわて高齢者プラン2021に「誰もが“長生きして良かった”といえる地域社会づくり」という理念を掲げている。難聴の場合、認知症やフレイルに進展していくことで、生活の維持が困難になっていくことは、我々が掲げる理念に一致しないものである。市全体の福祉政策を見て、ニーズが一定確認されるものであれば、何ら市独自の措置を講ずることにためらうことはない。まずはしっかりとニーズ調査を行っていききたい。

問 国会では2019年、日本共産党の大門実紀史参議院議員の質問に、当時の麻生財務大臣は、「難聴問題は重要なので厚労省から要求があれば予算をつける」と答弁された。中等度

難聴の補聴器の保険適用を国、特に厚労省への要望も強めてもらいたいだろうか。

答 厚労省へのアプローチについては、全国市長会の中にもさまざま部会があり、大阪府の健康福祉部会の中で、誰もが長生きして良かったと思える地域社会づくりに向けて、必要な声は届けていきたい。

35人学級の前倒し実施とダブルカウントの導入について

問 今年度、学級の基準を超える学年が9学年ある。全体の20%。支援学級の子が通常学級で人数としてカウントされないことが大きな要因。この解消が急がれる。放置していいとの考えか、教育長の見解を求める。

答 児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導は非常に重要で、少人数学級の達成というものは必ず進めていきたい。文部科学省と大阪府教育庁へ要望を伝えることを約束する。また、個別最適な学びと協働的な学びに力を込めて進めていきたい。



なわて葵風会
吉田 裕彦 議員

働き方改革における本市職員の適正配置について

問 コロナ終息を見据えての職員配置体制について。

答 今後のワクチン接種や感染者の支援等の動向が不透明であることから、引き続き業務が継続することも想定される。今後は新型コロナウイルスの感染状況、経口薬の供給状況並びに国や大阪府の動向等を注視し、新型コロナウイルス感染症に関する業務量等を考慮し、組織全体の状況を見ながら職員配置体制を検討して行く。

問 今後の新規職員採用予定と近年における採用職員の定着率について。

答 本年8月に事務職5人程度、専門職

5人程度、ICT分野で任期付職員1人程度の採用を予定。今後の新規採用は、引き続き退職者補充や事業の拡充等があった場合を基本としながら、定年延長や新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえつつ、組織全体のバランスを考慮し、総合的に判断していく。

職員の定着率に関しては、過去3年度間の採用後1年以内の退職者数の推移を見ると、令和元年度は採用者数16人のうち5人退職で68.8%、2年度は採用者数29人のうち1人退職で96.6%、3年度採用者数が18人で退職者はいない。

問 職員の採用計画等は策定しているのか。

答 平成23年当時にあった職員数等を定める定員管理計画が既に失効していて、その策定に向けて現在取り組んでいるところである。

本市における無電柱化の推進について

問 現在の実施状況と今後の取り組

みについて。

答 市道雁屋畑線の約500メートルの区間において実施している。

今後の取り組みについては、既存道路で無電柱化事業を実施するにはコストの問題に加え、事業者や沿道住民との調整、地下埋設物の状況など多くの課題があることから、道路の新設の際など、一定の条件を満たした場合に、その実施を検討する。

問 新設の際など、一定の条件を満たした場合の該当箇所は。

答 実施した市道雁屋畑線、その延伸を実施する際には検討される。



本市唯一の都市計画道路



市議会公明党

小原 達朗 議員

マイナポイント第2弾の対策について

問 マイナポイント第2弾が始まるが、どのような事業なのか、また市の対応は。

答 マイナンバーカードを新規取得した人が、クレジットカードなどに紐付けし利用または入金することで、利用額等の25%、最大5,000円相当のポイントが付与される第1弾を昨年12月まで実施。第2弾は申込期限の延長に加え、マイナンバーカードを健康保険証として紐付けした人に7,500円、公金受取口座を登録した人に7,500円、合わせて最大2万円のポイントが付与される事業である。6月30日午後からポイント申請と付与

が開始される。自身で申し込みを行うのが難しい人のために市民課前に専用ブースと田原支所でマイナポイントの申込サポートを行っている。

問 本議会で一人7,500円の商品券が決定。それにマイナポイント2万円の制度は物価高騰の中、大変に助かる制度のため皆さんが利用できるよう最大の配慮をお願いしたい。

高齢者への補聴器購入費に助成を

問 難聴による認知症発症への影響を調べた調査がある。聴力が正常な人に比べて認知症発症リスクが約2倍、高度難聴は5倍である。フレイル予防のためにも難聴対策に補聴器補助へ踏み切ってもらいたい、見解を。

答 令和5年度中に予定している「第9期介護保険事業計画」の策定にあたりアンケート調査を行い、高齢者の実態を把握していきたい。また国への要望も引き続き行っていきたい。

小中学校の英語教育について

問 2020年、新学習指導要領の中で小

学校での英語教育必修化が図られたが、本市の英語教育の現状と実績について伺いたい。

答 本市では10年以上前から外国語指導助手(ALT)を活用し、小学校では大阪府公立小学校英語学習6カ年プログラム「ドリーム」に取り組んでいる。その結果、聞く力については顕著な成果がみられる。

問 さいたま市の「グローバル・スタディ」ではトップレベルの成果をあげている。知見として何が優れているのか、現地をみてもらいたい。

デジタル博物館の創設に向けて

問 歴史的文化遺産を風化・劣化から守るためにデジタル画像でアーカイブ化し、ネット回線を通じて自宅や学校、全国どこからでも見ることができデジタル博物館の創設に関して見解を伺いたい。

答 「デジタルミュージアム」は大変意義深く、また学校教育の授業での活用も期待できるが、費用面を含めてさまざまな課題がある。



なわて葵風会

森本 勉 議員

四條畷神社参道に市営トイレを整備することについて

問 飯盛城跡が国史跡になり、観光案内所を兼ねた清潔なトイレを設置する必要があると思うが。

答 観光案内所を含め各公共施設の必要性は市内全体を俯瞰して内容を検討する必要があると認識している。

問 それだったら2月議会の答弁と繰り返し繰り返しテープレコーダーだ。副市長は神社のトイレを見に行ったか。

答 非常に汚く危険だと感じた。

問 つぶれた鳥居を再建した市民に市は応えるべきだ。参道は市道だ。トイレ用地に使えるのり面があるか。

答 神社石段から西に約200m以内に10坪程度の土地が3か所ある。



問 代表質問で市長も必要性を認めている。検討を進めてほしい。

大東市は国史跡指定の前に、飯盛山直下の楠公寺に綺麗なバイオトイレを設置した。精神的に豊かで、市民が誇りを持って品格のある四條畷市であると言えるようにしてほしい。

デマンドタクシーについて

問 今は利用2時間前までの予約だが1時間前にできないか。

答 繁忙期は対応できないため現行のまままでと考える。

問 対応できる時間帯を業者と相談してほしい。

答 施策の方向性を検討中のため、確定したら参考意見とさせてもらう。

問 岡山東を回る忍ヶ丘駅循環コースは土日8時半から13時まででない。高齢者には土日は関係ない。もう一本増やしてほしいとの需要がある。

答 施策の方向性の検討結果次第では

あるが、検討の余地はある。

問 デマンドの場合は市役所の中に停留所を作れないか。

答 許認可に比べればハードルは低い。

問 高齢者の苦しみなどの声を聞いて、それを活かしてほしい。

米崎踏切の歩道拡幅について

問 何としてでも危険解消のために最優先で実現しなければならない。

答 事業用地の確保の問題があり、雁屋畑線の開通で問題が解消する。

問 いつできるかわからない道を持ち出すのをやめてほしい。今、踏切の歩道はギザギザになっているため、その部分を真っ直ぐにすれば解決する。



答 JRとの協議、合意が必要となる。

問 半年以内に具体的協議ができるよう死に物狂いでやって欲しい。

※その他、小中学生の安全対策について、小中学校の給食無償化と、高校・大学・専門学校生の無利子奨学金創設についての質問をした。



市議会公明党

吉田 涼子 議員

女性のデジタル人材の育成・就労支援について

問 昨年6月に決定の「女性活躍・男女共同参画の重点方針2021」に女性デジタル人材育成の推進が明記された。デジタル分野の女性の正規雇用やキャリアアップ支援への本市の取組は。

答 デジタル人材に特化した就労支援は実施していないが、ハローワーク門真との共催で合同就職面接会などを実施している。

問 宝塚市ではパソコン教室を開催し、初級編から仕事に役立つ実践までのスキルが習得できる取組を進めている。本市でも検討できないか。
答 他市事例など調査する。

問 男女の格差なく働ける人材育成に取り組んでもらいたい。デジタルに特化した仕事に就ける女性の人材育成の観点から専門的な技術を身につけたい人が学校に通うなどの応援支援策について交付金等を活用し検討してもらいたい。

答 国の交付金の動向を注視し、女性が活躍できる地域社会に向けた施策は、デジタル人材の育成も含めて全庁的に検討していくものと認識。

小中学校へのマイボトル給水機の設置について

問 熱中症対策としていつでも水分補給ができるマイボトル給水機の設置を検討すべきであると思うが。

答 本市では、在校時間中の水分補給は、アレルギー対策の観点からも、それぞれの家庭で準備、持参することを原則としている。

問 登校中にお茶を飲み学校に着く頃にはない子どももいる。給水機があればいつでも給水できると思うが。
答 保健室で体調に合わせた対応を

する。
問 学校側も熱中症対策をしてきていると思う。家でできる対策として、朝食や睡眠の確保が、学校でできる対策として、先生の見守りもあるが、水分補給を十分してあげることだと思う。元気に夏を乗り越えられる対策として、給水機の導入を強く要望する。

「おおさかプラスチックごみゼロ宣言」への取り組みについて

問 第3次四條畷市一般廃棄物(ごみ)処理計画には、マイバッグ、マイボトルの拡大、給水施設の設置が令和12年度までの取組項目とある。今後の取組は。

答 給水施設の設置について、先行市への視察や聞き取りを行っている。
問 まずは、市役所内や公共施設に給水機を設置し市民へプラスチックごみゼロ宣言の意識づけの一つとしてアピールしていくべきだと思うが。
答 引き続き本市における課題の整理を行っていききたい。



市議会公明党

瓜生 照代 議員

使いやすい場所への投票所の設置について

問 岡山地域の長年の課題は、不便な投票所であり、今年3月の予算決算常任委員会で、利用しやすい投票所設置か、代替の工夫をとの私の要望に、検討すると答弁があった。その後の進捗は。

答 期日前投票の一定期間、西部地域はデマンドタクシーで、田原地域は低速電動自動車で移動支援を行う。

問 デマンドタクシーの停留所を増やしてほしいが。

答 ささまざまな課題や利用者の意見や要望などがあると考え。運行事業者による対応の可否もあるが、選挙管理委員会において議論する。

周産期グリーフケア支援の充実について

問 ホームページの開設、自助グループなどについての情報提供、府の研修を活用して当事者に寄り添った対応ができる人材の充実、ウェブ相談利用数を伺う。

答 ホームページの開設に向けて検討を進め、自助グループなどの情報の掲載は、大阪府を参考に検討する。保健師と助産師を中心にスキルアップを図る。ウェブ相談数は令和3年度が2件である。

がん患者アピアランス(ウィッグ・乳房補正具)サポートについて

問 病中病後の社会生活の質をより良くするうえで医療用ウィッグ、乳房補正具の役割は大きい。助成制度を。

答 重要性は十分に認識している。がん対策基本法に、国の責務と位置づけており、今後も国と府に助成制度創設を要望していく。

問 同法には市町村の責務も規定されており、府下で9市が助成している。

心が元気で闘病できるかどうか非常に大事ながん対策であり、助成制度をぜひ創設してもらいたい。

(仮称)四條畷市障がい者差別解消条例の制定について

問 障がい者を理由とする差別を解消するための市の取り組みの現況は。また(仮称)四條畷市障がい者差別解消条例を制定するべきではないか。

答 障がい者差別解消支援地域協議会を設置し、事例検討、研修会、啓発を実施している。他市の状況や先進事例を調査研究していきたい。

問 差別の実情や実態把握、それらへの対処は。窓口設置の必要性への見解は。合理的配慮が義務化される事業者への周知は。事業者や子どもも含めた市民への研修、啓発は。

答 当事者からの連絡等で把握し、困難事案は府と連携して対応。窓口は他の福祉部局等との連携で対応。事業者にはリーフレット等で周知。市民全体に研修や周知啓発を開催していく。

問 条例の制定を強く要望する。



畷ビジョンの会
島 弘一 議員

一人暮らしの高齢者等の 安否確認について

問 緊急通報装置を設置している行政があるが、本市ではこれらの対策をどのように考えているのか。

答 65歳以上の高齢者のみの世帯で常時注意が必要な人には機器の貸し出しを行い、緊急通報装置を設置する事業を行っている。また、独居高齢者等の安否確認は、新聞販売店等の民間事業者と連携した見守りネットワーク事業や民生委員・児童委員による地域の見守り訪問等により、把握に努めている。

自動運転バスについて

問 田原地域では、国の補助を活用し

た実証実験を実施している。西部地域でも、山側のエリアでは傾斜の大きな場所がある。高齢化に伴い、移動に苦慮している市民が多く存在している。デマンド交通も完全とは言えず、新たな交通手段が必要ではないか。

答 まずは計画に基づき、田原地域の公道における自動運転走行の実証実験を行う。課題や利用状況を踏まえ、西部地域への展開の可能性を長期目標の中で調査研究していく。

健康長寿を目指しての高齢者の 筋力トレーニングについて

問 健康長寿をめざし、医療保険や家族の負担軽減のためにも、筋力トレーニングができる施設が必要であると思うが。

答 いきいき百歳体操など筋力トレーニングのメニューを地域の通いの場で実施している。また、筋力トレーニングを行うことができる施設としては、市民総合体育館のトレーニングルームが活用できる。

小学校における、冷水機の設置について

問 今後、小学校にも冷水機を設置する予定はあるのか。

答 アレルギー対策の観点からも、それぞれの子どもに応じた飲料を家庭で準備、持参させることを原則としている。

本市の財政について

問 2004年に夕張市が赤字再建団体になり、次は四條畷とやゆされた当時、市を挙げて財政再建をしたが、現状を伺う。

答 本市の財政は、平成9年度の実質収支赤字を機に、財政再生団体への転落の回避を目的とした取り組みを実施してきたことにより、経常収支比率の改善をはじめ、市債残高の減少や基金残高の増加、また、令和2年度当初予算から3年連続で財政調整基金から繰入れすることなく予算編成を行ったことなどから、健全な財政状況にあると認識している。



畷ビジョンの会
長畑 浩則 議員

四條畷南中学校跡地に接する 東側道路の歩道設置について

問 歩道が終わり車道に歩行者が誘導される形だが、先に何かあるのか。



答 旧南中学校のプールがある。

問 平成30年9月定例議会より要望しているこの件を叶えたく、再度質問した。危険な道路の安全対策として、歩道延長に限らず車道まで広げクラック部分の解消も進めたい。しかし、歩道をつけることは難しくない。グラウンドが2mほど歩道に変わるだけ。市民の命を守る考えがあるので

あれば、個別施設計画を待たず歩道延長をしてほしいと要望する。

国道旧170号について

問 住宅地から旧170号へ出るのに、見通しが悪いT字路にカーブミラーを市が付けている。しかし、このカーブミラー横に十形道路交差点ありの警戒標識があり寝屋川市側からの車が確認できない。この十字路、交差点上には点滅信号があり、道路には学童注意の大きな文字に停止線と横断歩道、これだけの注意喚起を促す手法が取られている。地域の要望、また、現在も住宅地の開発でカーブミラーを必要とする市民が倍以上になることから、警戒標識の撤去を市を通じて府へ要望した。府の回答は。

答 必要なため、撤去できない。

問 府に市民の本当の声が届いていない。カーブミラーが見えないと言っているのに納得できない。府が管理している道路は、府が対応するしかない。これ以外にも府に対して要望がある。セットバックして

建物ができたとき道路上の停止線が以前のまま、交差点の信号機が何年も前の台風で曲がったまま、マンションや病院ができるときにセットバックして歩道を確保するが歩道が途切れ途切れとなり歩道設置に対する計画性がない。四條畷市民は大阪府民。府民の声が届くよう、市として府の道路整備に対し、これまで以上に連携を取るよう要望する。

青少年コミュニティ運動広場 (青少年グラウンド)について

問 早急に移転をしてもらいたいのが一番の要望だが、それも叶わない。移転が決まっているため、予算をかけてまで手を入れることもしない。このまま放置に近い状態が続けると、利用者が大きな怪我をし、市が責任を負うような事態に陥らないとも限らない。そうなる前に、グラウンドの維持管理をせめて5年程度はどうするのか、早急に庁内で検討し答えを出すことを要望する。



大阪維新の会
大矢 克巳 議員

令和3年度における一般・代表質問
の検証

- 問 自宅療養者の人々に対する日用品・食料品の無償提供の期限について、昨年の9月度議会で、市独自の無償提供をお願いしたところ、本年1月より実施してもらった。いつまでこの施策を続けてもらえるのか。
- 答 国における新型コロナウイルス感染症の取り扱いの動向を見据え、総合的に判断していく。
- 問 ワンコインPCRを、来年3月末まで実施してもらえるのであれば、自宅療養者の人たちの対応も、来年3月までお願いしたい。
- 問 何度もこの質問をしているが、前副市長の在任中の実績は。

- 答 実績については、前副市長をはじめとする職員一人ひとりが有する能力や職務経験等を組織の中で活かすことにより、相乗効果として全体的に作用して得られたさまざまな結果であると認識している。
- 問 4年間で6300万を費やして、民間で女性の副市長を公募で任用した市長の一大施策の実績の報告をできないのは、失策ではないか。
- 問 学校給食会の不正会計の返金分約1995万円、今後の考え方について。
- 答 返還金の使途の案として、調理や運送上のトラブルで各学校に給食の配送ができないなどの事案が発生した際に備えた代替食の購入や、小中学校の防災教育の一環として防災給食を企画する等検討していると聞き及んでいる。
- 問 本市が契約しているのに、運送上にトラブルがあった場合等に、このお金を当てにすることはおかしい。返ってきたお金を何かトラブルがあったときのためにプールしておく、また不正が起こるかもしれない。

- い。今回、公会計にしたのなら、各小中学校に公正公平に行き渡るように、全額で図書を買って、すぐに使ってしまうようにすることを提案する。
- 問 コミュニティバスの市営化に向けての本市の考えと地域公共交通会議での状況について。
- 答 地域公共交通会議において、今後の方向性の一つとして議論した。安定した運転手の確保や事故時の対応、運行についての知識不足などのデメリットが大きいとの意見が多く、民間事業者による安定した運行が望ましいため、現段階では、市営化は困難であるとの結論となった。今後、大きく環境の変化などがあった際には、選択肢の一つとして検討していくものと考えている。
- 問 会議に上程してもらったことは感謝する。
令和2年度と比べたら、2年間で1億4000万使うことになるため、高騰が続くなら、再度検討してもらいたい。



会派に属さない議員
渡辺 裕 議員

健康寿命の延伸とバリアフリーについて

- 問 公共施設におけるバリアフリー上の問題点は。
- 答 周辺環境の制約上、物理的に対応できないことが整備上の課題であり、大規模な改修工事や建て替え時に整備を実施することになる。
- 問 昨年の自分自身の膝の手術と車椅子での生活を通じて、バリアフリーの重要性を認識した。膝関節痛の治療法は、人工関節、軟骨培養、骨切り手術の3つが考えられるが、膝の痛みというのは多くの人が抱える問題だと思うため、公共施設の在り方はそのような人を想定しながら考えていく必要がある。

- 市役所本館1階の多目的トイレの手すり横開きだが、その理由は。
- 答 文献等から確認することができなかった。
- 問 本来であれば、縦に開くほうが、車椅子の人にとっては動かしやすく、移動しやすと思う。
- また、多目的トイレのカバーについては、車椅子の人の利用を想定すれば、民間の多目的トイレのようにカバーがないほうが使い勝手がいいと思うが、市ではどのように考えるか。
- 答 使い勝手は確かでない方が良いが、物の落下防止、飛沫や汚れの飛散防止、臭気の軽減などの効果が考えられる。改修時にはしっかり勘案して、具体的に検討したいと考える。
- 問 次に、健康寿命の定義は。
- 答 健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間と定義されている。
- 問 新聞では、日本の平均健康寿命が、男性が72.6歳、女性が75.3歳という記載があった。平均寿命(男性)は、全国79.6歳、大阪府79.2歳、四條

- 畷市78.6歳となっている。市の平均値は国や府よりも低くなっているが、その原因は。
- 答 高血圧、脳疾患患者が60歳以上で多く、糖尿病、高血圧、脂質異常症の順に生活習慣病の医療費が高くなっていることが原因の一つと考えられる。
- 問 また、国の平均寿命と健康寿命の差である不健康期間をみると、男性が9年、女性が12年となっているが、市でも似ているか。
- 答 国と変わらないと思う。
- 問 健康でいられる期間は意外と短く、健康寿命を考えると元気でいれる期間は短いという認識を再度した。
市でウォーキングマップをもらった。この地図では、トイレマークはある。椅子は、非常に大事と思うがマークの記載予定は。
- 答 今後作成していくマップでは椅子のマークの記載も考えている。
- 問 スペースの確保が難しいなら、ガードレールと椅子を兼ねた衝撃を緩和してくれるサポートベンチについて、今後調べてもらいたい。

令和3年度政務活動費収支報告

本市議会では、政務活動費の収支報告への領収書の添付を義務付けし、政務活動費の支出に係る責任の所在を明確にするとともに、透明性の確保を図ることとしております。

下記のとおり、令和3年度分として交付された政務活動費に対する収支報告を掲載するとともに、市議会ホームページにも収支報告書と領収書の写しを掲載いたしております。



森本 勉 議員		
収入 480,000 円 (内訳 40,000×12ヶ月)		
	金額	備考
①	0	
②	0	
③	445,298	市政だより印刷製本費 配布委託料等
④	0	
⑤	0	
⑥	0	
⑦	0	
⑧	0	
⑨	9,450	ガソリン代
⑩	0	
⑪	0	
合計	454,748	
差引	25,252	
返金額	25,252	

大矢 克巳 議員		
収入 480,000 円 (内訳 40,000×12ヶ月)		
	金額	備考
①	0	
②	0	
③	0	
④	0	
⑤	0	
⑥	0	
⑦	0	
⑧	0	
⑨	0	
⑩	0	
⑪	0	
合計	0	
差引	480,000	
返金額	480,000	

柳生 駿祐 議員		
収入 480,000 円 (内訳 40,000×12ヶ月)		
	金額	備考
①	0	
②	0	
③	469,243	チラシ印刷費用、 ポスティング費用
④	0	
⑤	0	
⑥	0	
⑦	3,025	ノート、文具、ホワイトボードレーザー
⑧	0	
⑨	6,114	ガソリン
⑩	0	
⑪	0	
合計	478,382	
差引	1,618	
返金額	1,618	

藤本 美佐子 議員		
収入 480,000 円 (内訳 40,000×12ヶ月)		
	金額	備考
①	0	
②	0	
③	436,312	市政報告印刷費/ 市政報告配布費
④	0	
⑤	0	
⑥	0	
⑦	0	
⑧	0	
⑨	10,579	ガソリン代
⑩	0	
⑪	32,763	複合機リース料
合計	479,654	
差引	346	
返金額	346	

吉田 裕彦 議員		
収入 480,000 円 (内訳 40,000×12ヶ月)		
	金額	備考
①	150,000	本市の地域防災の調査研究
②	0	
③	0	
④	0	
⑤	57,288	東京陳情・2回
⑥	0	
⑦	0	
⑧	75,204	教育新聞・農業新聞等
⑨	10,307	事務所固定電話代
⑩	0	
⑪	93,248	コピー機リース・保守料・ 電気代
合計	386,047	
差引	93,953	
返金額	93,953	

岸田 敦子 議員		
収入 480,000 円 (内訳 40,000×12ヶ月)		
	金額	備考
①	163,160	・防災調査委託費 ・NO2測定のカプセルの費用
②	22,000	・脱炭素社会の実現に向けた研修会 ・市町村議会議員研修会 等
③	140,250	議会報告No.136～146印刷費
④	0	
⑤	0	
⑥	0	
⑦	3,903	・プリンターインク代(10%) ・コピー用紙代(10%)
⑧	20,046	「地方行財政改革の論点」 「判例 生活保護」等書籍代
⑨	0	
⑩	0	
⑪	0	
合計	349,359	
差引	130,641	
返金額	130,641	

収支報告の見方【科目①～⑪(単位:円)】

①調査研究費 ②研修費 ③広報費 ④広聴費 ⑤要請・陳情活動費 ⑥会議費
⑦資料作成費 ⑧資料購入費 ⑨通信交通費 ⑩人件費 ⑪事務所費

※収入から合計を差し引いた金額(残金)が1円以上ある場合は、市へ返金となります。
※科目ごとに金額を記載し、その科目の主な内容を備考欄に掲載しています。

小原 達朗 議員		
収入 480,000 円 (内訳 40,000×12ヶ月)		
	金額	備考
①	0	
②	0	
③	207,884	チラシ印刷、ポスティング代等
④	0	
⑤	0	
⑥	0	
⑦	7,870	コピー用紙等
⑧	130,072	情報雑誌等購入費
⑨	6,335	電話、インターネット代等
⑩	0	
⑪	706	ノートパソコン代、 固定電話工事費
合計	352,867	
差引	127,133	
返金額	127,133	

吉田 涼子 議員		
収入 480,000 円 (内訳 40,000×12ヶ月)		
	金額	備考
①	0	
②	53,900	防災士研修参加費
③	258,118	市政報告書印刷、委託料
④	0	
⑤	0	
⑥	0	
⑦	0	
⑧	0	
⑨	1,277	固定電話料金
⑩	0	
⑪	377	固定電話工事費
合計	313,672	
差引	166,328	
返金額	166,328	

瓜生 照代 議員		
収入 480,000 円 (内訳 40,000×12ヶ月)		
	金額	備考
①	0	
②	30,000	動画セミナー聴講
③	113,395	個人報印刷・ポスティング
④	0	
⑤	0	
⑥	0	
⑦	0	
⑧	1,760	書籍購入
⑨	1,277	固定電話料金
⑩	0	
⑪	79,200	事務所賃貸料
合計	225,632	
差引	254,368	
返金額	254,368	

渡辺 裕 議員		
収入 480,000 円 (内訳 40,000×12ヶ月)		
	金額	備考
①	0	
②	0	
③	166,927	市政報告印刷代、 デザイン代等
④	0	
⑤	0	
⑥	0	
⑦	0	
⑧	55,660	雑誌購読費
⑨	0	
⑩	0	
⑪	0	
合計	222,587	
差引	257,413	
返金額	257,413	

長畑 浩則 議員		
収入 480,000 円 (内訳 40,000×12ヶ月)		
	金額	備考
①	0	
②	0	
③	777,510	市政報告関連費用[印刷・ポスティング・ 郵送]は全て80%で計上
④	0	
⑤	0	
⑥	0	
⑦	0	※1 Adobe Creative Cloud 利用料 1～3月分合計18,744円は未計上
⑧	19,800	書籍:都市データパック2021 (東洋経済発行)
⑨	0	未計上
⑩	0	
⑪	0	未計上
合計	797,310	
差引	△317,310	
返金額	0	

島 弘一 議員		
収入 480,000 円 (内訳 40,000×12ヶ月)		
	金額	備考
①	0	
②	0	
③	476,678	印刷製本費/委託料
④	0	
⑤	0	
⑥	0	
⑦	11,390	消耗品費
⑧	0	
⑨	0	
⑩	0	
⑪	0	
合計	488,068	
差引	△8,068	
返金額	0	

※1は市政報告作成に使うソフトPhotoshop/illustrator/Acrobat

虚礼の廃止・寄附の禁止にご理解を！

本市議会では、本市議会議員及び後援団体の活動において、公職選挙法の規定を遵守するとともに、虚礼の廃止と寄附の禁止に関する要綱を定めていますので、市民の皆様のご理解をお願いします。

虚礼の廃止



- 年賀状、暑中見舞状、就退任状、慶弔電報、メッセージ等の送付
- 名刺広告、協賛広告などへの掲載は禁止されています。

寄附の禁止



- 中元、歳暮の贈答品
- 慶事に対する祝金、花、酒食等
- 弔事に対する香典、楮、供花、供物等
- 就退任に対する祝金、餞別等
- 各種行事に対する寸志、粗品等の提供は禁止されています。

今後の定例議会の予定

四條畷市議会は通年会期制をとっているため、予定されている日程以外にも臨時で議会を開催することがあります

日	月	火	水	木	金	土
8/28	29	30	31	9/1 本会議(9月初日) 議案審議	2 総務建設常任委員会 付託議案の審査	3
9/4	5 教育福祉常任委員会 付託議案の審査	6 予算決算常任委員会 付託議案の審査	7	8	9	10
9/11	12	13	14 本会議(9月2日目) 付託議案の採決 ・一般質問	15 本会議(9月最終日) 一般質問	16	17
9/18	19	20	21	22	23	24
9/25	26	27	28	29	30	10/1
10/2	3	4 予算決算常任委員会 一般会計決算の審査	5 予算決算常任委員会 一般会計決算の審査	6 予算決算常任委員会 一般会計決算の審査	7	8

時間：原則午前 10 時から

場所：本会議 議場（市役所本館 3 階）

委員会 委員会室（市役所本館 3 階）

日程は変更される場合がありますので、

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

☎ 072-877-2121（代表） ☎ 0743-71-0330（代表）（内線 222）

市のホームページで議会のようすがご覧になれます

詳細は、お手持ちのパソコン・スマートフォンから市ホームページの「四條畷市議会」のコーナーをご参照ください。



こちらを
チェック！

<https://www.city.shijonawate.lg.jp/site/shigikai/>

四條畷市議会

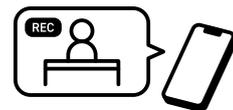
検索

インターネット中継



議会の模様をライブ配信（生中継）しています。誌面では味わえない、議場の雰囲気を感じてみましょう。

録画配信



定例議会・臨時議会の本会議などの録画映像を配信しています。
※令和4年6月定例議会の会議録の掲載は9月中旬予定。

令和4年6月定例議会における議場映像ライブ配信のアクセス件数は、757件でした。